



## Press Release

2017年3月1日  
グロースポイント・エクイティ LLP

### グロースポイント・エクイティ 日本初のグロースエクイティ ファンド設立についてのお知らせ

グロースポイント・エクイティ LLP(本社:東京都渋谷区、代表パートナー:吉崎浩一郎、上田谷真一、新谷大輔、以下:グロースポイント・エクイティ)は、2017年3月1日(水)付で、企業の成長を支援するファンド「グロースポイント投資事業有限責任組合」を設立いたしました。

今回の第一次募集では、みずほ証券株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:坂井辰史、以下:みずほ証券)、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:鈴木篤、以下:エイチ・ツー・オー リテイリング)、株式会社大分銀行(本店:大分県大分市、取締役頭取:後藤富一郎、以下:大分銀行)などから 27 億円を調達し、最終的なファンド総額は 100~150 億円を予定しています。

近年の日本においては、高齢化や人口減少などを背景として市場全般が成熟段階にあり、ターニングポイントを迎えている一方で、アジアの中間層の勃興や海外から見た日本的な付加価値・品質・サービスに対する再評価など、ビジネス機会も拡大しています。

こうした環境の中でグロースポイント・エクイティは、成長を志向する企業に対し、マジョリティおよびマイノリティ投資の両方を本格的に行う日本初のグロースエクイティ ファンドとして、この度の組成に至りました。

グロースポイント・エクイティは、国内外で投資事業に精通した元クールジャパン機構 CIO の吉崎浩一郎、様々な消費者向け事業(B2C)の経営者としての経験を持つ元バーニーズ ジャパン社長の上田谷真一、戦略的事業視点を持つファンド出身者の新谷大輔の 3 名で創業、その他ケンコーコム創業者の後藤玄利も参画し、これらの豊富な経験を通じて、ライフスタイル(衣・食・住)、消費財・サービスなどの B2C 分野を中心に、幅広い分野において投資と経営を深いレベルで一致させ、次世代に飛躍すべき事業の構築に貢献いたします。

＜本件に関する報道関係からの問い合わせ先＞

グロースポイント・エクイティ LLP  
広報担当:株式会社ノエル・コミュニケーション 鈴木、後藤  
Tel:03-3760-9690 / Fax:03-5408-8433 / Email:press@noelcom.co.jp

ファンドへのお問い合わせ先:グロースポイント・エクイティ info@gp-equity.com

## 参考資料

### 【グロース(プライベート)エクイティとは】

成長を志向する企業に対し、マジョリティ・マイノリティを問わず投資を行い、経営支援する、プライベートエクイティ。成長企業の増資をマイノリティで引き受けるグロース・キャピタルと、中堅・成熟企業のマジョリティを取得するバイアウトの両方の特徴を併せ持つ。

### 【ファンドの概要】

組合の名称：グロースポイント投資事業有限責任組合  
準 拠 法：投資事業有限責任組合契約に関する法律  
設 立 日：2017年3月1日  
ファンド規模：最終額として100～150億円を目途とする  
期 間：10年間。但し、最大2年間の延長が可能  
無限責任組合員：グロースポイント・エクイティ有限責任事業組合  
有限責任組合員：みずほ証券、エイチ・ツー・オー リテイリング、大分銀行等  
対 象 分 野：ライフスタイル(衣・食・住)、消費財・サービスなどのB2C分野を中心に、情報産業サービスや製造業、その他B2B向けサービス等  
対 象 エ リ ア：日本を中心としながら、日本企業との接点のある海外の企業への投資も検討

### 【グロースポイント・エクイティ概要】

運 営 者：グロースポイント・エクイティLLP(有限責任事業組合)  
組 合 員：代表パートナー 吉崎浩一郎、上田谷真一、新谷大輔  
本 社 所 在 地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目10番15号  
設 立 日：2017年2月  
U R L：<http://www.gp-equity.com>

### 【グロースポイント・エクイティ 代表パートナー/ストラテジック・パートナー略歴】

■吉崎 浩一郎(よしざき こういちろう) 代表パートナー

1966年11月28日、東京都生まれ。

1990年3月、青山学院大学国際政治経済学部国際経済学科卒業。

1998年9月、法政大学大学院社会科学部修士課程修了(経営学専攻)。

1990年4月、三菱信託銀行株式会社(現 三菱 UFJ 信託銀行株式会社)に入社。国際金融および法人営業に従事。1996年7月、日本AT&T株式会社(現 AT&T ジャパン株式会社)に入社、国際通信サービスのスタートアップを推進する。1998年4月、シュローダー・ベンチャーズ株式会社(株式会社MKS パートナーズ)に参画。欧米型ハンズオンのベンチャー投資、グロース・キャピタル投資、バイアウト投資、企業再生 投資等を実行、パートナーとして全投資案件の意思決定に関与する。2005年9月、カーライル・グループに参画。日本・アジア(中国、インド、韓国)の成長企業向けバイアウトおよびグロース・キャピタル投資を担当。2009年10月、株式会社グロース・イニシアティブを設立、代表取締役就任。中堅企業向けグロース・キャピタル投資およびバイアウト投資を実行。2012年4月には大和クオンタム・キャピタル株式会社のCIO(最高投資責任者)を兼務し、アジア企業へのグロース・キャピタル投資を担当。2013年11月、クールジャパン機構(株式会社海外需要開拓支援機構)の立ち上げに取締役CIOとして参画。官民合わせて1,000億円規模のファンド運営の責任者として投資チーム立ち上げおよび体制構築を行い、ベンチャー投資、バイアウト、大企業とのJV投資など1年超で計12件、300億円超の投資を実行する。2017年2月、グロースポイント・エクイティLLPの代表パートナーに就任。

■上田谷 真一(うえただに しんいち) 代表パートナー

1970年2月2日、埼玉県生まれ。

1992年3月、東京大学経済学部卒業。

1992年4月、ブーズ・アレン・アンド・ハミルトンに入社し、経営コンサルティングに従事。1995年1月、大前研一氏率いる大前・アンド・アソシエーツ・グループの設立に参画、パートナーとして、多数の事業インキュベーション(株式会社ビジネス・ブレイクスルー等)に携わり、ケンコーコム社等3社の上場を果たす。2003年9月、黒田電気株式会社に転じ海外事業・製造業および経営企画を担当。翌年6月に取締役就任、同社のグローバル化を推進。2006年2月、株式会社リヴァンプに参画し、パートナーに就任。同年12月、ディズニーストアを運営する株式会社リテイルネットワークスの代表取締役社長に就任、オリエンタルランド社傘下で、経営再建を行う。2009年11月、クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社の代表取締役社長に就任し、大規模なマーケティング活動とビジネスモデルの転換を行い、事業の全国展開を推進し、同社をフード業界屈指の高収益ビジネスに育て上げる。2012年4月、株主であった住友商事と東京海上キャピタルより株式会社バーニーズ ジャパンの代表取締役社長に招聘され、経営変革を実行。低迷していた業績を3期連続で増収増益に転じさせ、2014年度には過去最高益を達成する。2015年2月、同社の株式会社セブン&アイ・ホールディングスによる子会社化に伴い退任。2017年2月、グロースポイント・エクイティLLPの代表パートナーに就任。

■新谷 大輔(しんたに だいすけ) 代表パートナー

1968年9月6日、東京都生まれ。

1993年3月、東京大学経済学部卒業。

2012年12月、シカゴ大学経営大学院修了(MBA)。

1993年4月、株式会社日本興業銀行(現株式会社みずほ銀行)に入行。中堅企業向け融資、プロジェクトファイナンス、プライベートエクイティ投資(米国ファンドへ派遣)、LBOファイナンス等に従事。2003年1月、株式会社MKSパートナーズに入社。MBO、事業再生等の投資案件の発掘・検討、投資実行、モニタリング、業績向上サポートを推進。福助(靴下、肌着等の企画・卸売)への事業再生投資を担当。2005年1月、みずほ証券株式会社の関連会社である株式会社インダストリアル・ディンジョンズに入社。日本初のエネルギー業界に特化したPEファンドの企画・設立に従事。2006年4月、ヴァリアント・パートナーズ株式会社を他メンバーと共同で創業。175億円の中堅企業向けファンドを設立し、事業承継、戦略的非上場化等のバイアウト投資の発掘からエグジットまでを中核メンバーとして推進。株式会社阪神調剤薬局(調剤薬局チェーン大手)および日本工業検査株式会社(非破壊検査大手)への非上場化型投資をリードし、取締役として事業改革による業績向上をサポート。2013年9月、株式会社LIXILグループに入社。国内および海外におけるM&A業務に従事し、事業会社の立場での投資業務を経験。2015年7月、東京国際キャピタル株式会社を他メンバーと共同で設立。中堅中小企業向けの事業承継、戦略的非上場化、大企業からのMBOによる独立等の投資の発掘・検討に取り組む。2017年2月、グロースポイント・エクイティLLPの代表パートナーに就任。

■後藤 玄利(ごとう げんり) ストラテジック・パートナー

1967年2月4日、大分県生まれ。

1989年3月、東京大学教養学部基礎科学科第一卒業。

2016年8月、国立シンガポール大学リークワンユー公共政策大学院公共マネジメント学科修了。

1989年4月、アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)に入社し、経営コンサルティングに従事。1994年5月、家業である、うすき製薬株式会社の取締役就任(1997年7月-2001年8月まで代表取締役)。1994年11月、株式会社ヘルシーネット(現ケンコーコム株式会社)を設立、代表取締役に就任。2000年5月、Eコマースサイト「ケンコーコム」をローンチ、2004年6月には東証マザーズ上場を果たす。2014年10月、ケンコーコム株式会社代表取締役を退任。2016年10月、ジャクール株式会社、一般社団法人タグフィットを設立、訪日観光客向けの多言語翻訳サービスインフラのソーシャルイノベーションによる構築に取り組んでいる。2017年2月、グロースポイント・エクイティLLPに参画、ストラテジック・パートナーに就任。